

大人のベベフィー

Rich

Hippo 入会 約2年。元々仕事柄海外の人との交流が多く、「いろんな言葉と話せるといいなあ…」と思いつつも、音源と聞いているだけとかなるもんかな…と過ごしていたんだけど、変化のまぶしが見えてきて楽しくなってきました。そんな「大人のベベフィー」体験を書いてみました。

< 聞こえる >

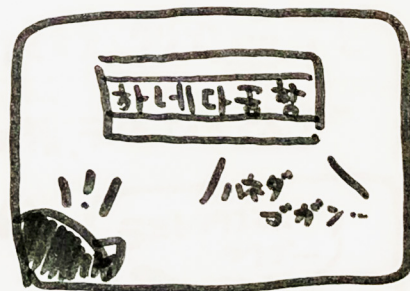
① 日本

羽田空港に向かうモノレール車内。

今までも「英・中・韓の言葉でアナウンスしているなあ…」とはおぼえていたが、

突然「ハネダゴガン…」^{空港!}「…ゴガン!」

これ聞いたことあるよ! と いさなり頭に入ってきました。



② フランス

フランスの同僚2人がフランス語で会話している時、1人が相手の発音に「～ダコー」と相づちを打っていて、「おお…」

しーちゃんが毎朝言っているダコーだよ」とパッと聞こえました。

「ダコー・ポンジー」
了解 レッゴ-

<推測する>

こんな感じで、音が入ってくると、次はそれが何を表しているのか推測する作業が始まります。

① 韓国 (ビジネス)

お客さんとの会議で、よく、「メンチャム」と聞かされてきていて、「これは聞いたことがある…」と思いつつも意味がわからずにいました。しかし、「あぁ？ そういえば会議の冒頭で聞くことが多いな」と聞いたタイミングから、「これは『はじめに』という意味」だと理解。ということは…あの音源の部分は どういう意味？とまだ
(もうゴハジ…がわからない)

途上です。

② 韓国 (プライベート)

漢江のクルーズ船に乗った時、オルガンの弾き語りが途中から始まって、曲紹介の時に「ラストクリスマス クリガ…」と聞かされた。
→音源にあったのはこうかいた。 →これはその音源 →ここからはわからなかった。
「クリガ…これはなんだ？」その後、ラストクリスマスが演奏され、続いて2曲目がはじまりました。これは「〜と…」という意味と想像。そういえば仕事の面談でも、相手が、「〇〇 クリガー △△ クリガー ××」と書いていたのが思い出され、「あぁ、あぁは 〇〇して△△して××」と書いていたんだ…と急に理解できました。



<推測する・発展>

音源にある言葉を見つけはじめると、音源にない言葉も推測することができるようになってきた。

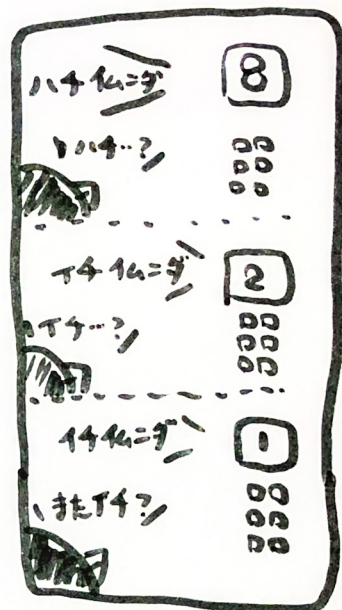
②韓国 エレベーター その1

エレベーターで11階から降りる時、8階で止まりました。「ハチ イムニダ」「...8.てハチだっけ？」次に2階で「イチ イムニダ」「...2...? イチ？」最後、1階。「イチ イムニダ」「!? またイチ?」

何かの聞き間違いかと思いつつもその後やっぱり「ハチ」「イチ」「イチ」...などだ。

...さてよ、全部「チ イムニダ」じゃないか。

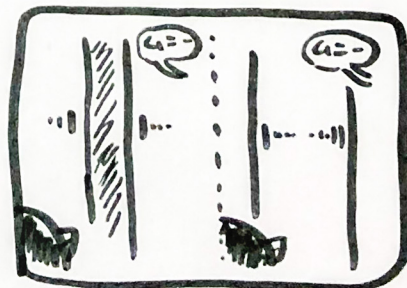
8はたしかハル、2はイ、1はイル、ということは「チ」は「階」で8階が「ハ(ハ)チ」
ハチにハの付いた 2階が「イチ」
イにチの付いた 1階が「イ(イ)チ」ということではないか!? 次に3階で止まった時「サ(サ)チ」と聞
サにチの付いた こえて、確信しました。「チ」は「階」であると。



②韓国 エレベーター その2

ドアが開くとき、「ムニ---...」、閉まる時も「ムニ---...」。

「ムニ---」は扉だろ...とこれも今まで知らなかった音がその意味と出会った瞬間でした。(ひろめます、しまりますはまだわかっていません...)



<口に出す>

意味がわがてくると、何となく口がとせるようになります。

①ドイツ

一人で食事している時、周りの人が、支払いの時に、

「ツアーレン ビッター」と言っているのを聞き、その後の行動を見てこれは「お会計おねがいします」だと推測し、自分もいざそのタイミングになった時、「ツアーレン ビッター」と言い、無事に会計ができました。

②フランス

Hippoで「Merci」には^{メルシー}「De Rien」と返すのを知って^{デュ リアン}
^{ありがとう} ^{どういたしまして}

いましたが、ある日レストランで「Merci」と言ったら、

「ジュズザンブリ」と返ってきました。…なんだこれは？

「Je」は^{ジュ}「vous」^ヴ…ザンブリ？ わがらない。でも、「私はあ
^私 ^{あなたに}

あなたに^{なんでもします？}「……」で、「どういたしまして」の丁寧語かな？と
^{がんばります？}
^{つくします？}

推測。とこで別の日にフランス人の同僚に Merciと言われたので「ジュズザンブリ」と言ったら、「よく知っているわー！」と驚かされたも「ちょっとフォーマルすぎるよ」と言われました。

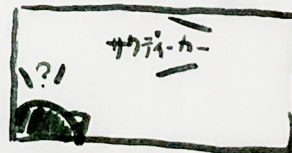
まあ、推測は間違っているかもしれないです。

(たしかに、「ジュズザンブリ」と言われたレストランはちょっと高めのお店でした)

<口に出す・効能>

②中国

ある面談で製品紹介をした時、相手の人がやたらと「ブーブー」
言っていて、「あまりウケてないな…」と思っていた所、案の上、通訳の
人が、「ちょっと訳したくないくらいひどいこと言っています」と
伝えてくれました。次の会社でも同じ紹介するのにコリヤなん
とガセねば…と、必死に思い出して、名利交換の時に英語で
はなく、「ウォーシーランムー。ウォリウーザイドンチン」と
言て、そして説明・会談が始まりました。…まあ、やはり
ウケなかったんですが、ひどい言われ方はしなかったみたいです。
もちろん相手の人柄にもよるんでしょうけれど、「中国語、
わかりますよ」という姿勢が相手に少し遠慮なのか親近
感なのかと生み出したのかなと思います。



中国の余談

JALで行った時、必ず機内アナウンスで「サファイカー」と
聞こえます。中国-日本便ナリ。「Attention please」の中国語なのだとまでは
想像できているものの、JAL以外（空港とか他社便）
では聞こえたことがなく、今だに謎です。（使う場面も
なく…）

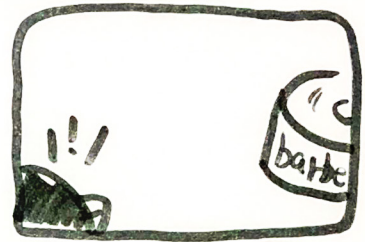
<文字との遭遇>

① フランス

しーちゃん お気に入りの「バーバパパ」がわたあめということは知っていたある日、フランスの街中でわたあめが売られていました。そのわたあめ製造機に、

「Barbe à papa」の文字。

バールベ ア パ パ
バールベ ア パ パ



「バーバ パパ じゃあーか！」

② フランス

リヨンの空港から次の目的地に行く旅程になっていて、その空港まで電車に乗っていました。降りる駅は

「Saint Exupéry Aeroport」

私は「セイント エクスペリ アエロポート」と記憶して、降り間違えないように集中していました。さて、いざ次の駅だ、となった時、車内アナウンスで聞こえてきたのは、想定外の音。

「サンテグジュペリ アエロポート」...?? 今なんて言った？

セイントエクスペリ

セインテクスペリ

サンテグジュペリ!? 星の王子様じゃあーか!

→ 実際、空港は星の王子様 グラスバグ・タコマン。

バーバ パパとは逆に文字を知っていて音で読み方を認識する体験でした。

②日本

いちゃんがフランス語に興味をもっている。とフランス人の同僚に話していたら、その同僚が来日時にフランス語の絵本を買ってきてくれました。今の時代、アプリでその絵本の中身を読んでくれるので、フランス語と読めなくても大丈夫。アプリで出てくる音声と聞きながら絵本を読んでいたら、「ダコー」が聞こえ、パッとページを見たら「D'accord」の文字。ダコーはこう書くのか…と初めて認識。絵本、てすごいな…。音と聞いて文字との合致を行えるんだ…。

中学生から大人になるまで、外国語修得の目的がテストの点と取ること。そのため、「読む→書く→聞く→話す」の順片で学んでいました。でも目的が「コミュニケーションと取る」のであれば、「聞く→話す→読む→書く」が一番自然かつ効果的なんだと日々感じています。(知らない音と推測→仮定正誤チェックが楽しい)出張でいろんな国の言葉に触れるチャンスが多いメリットを生かして、これから楽しく音と自分のものにしていこう。仕事柄あまり縁のない言語もたくさんあるので、いろいろと飛びこんで行きたいものです。

おしまい。